

科目名	企業実習	科目コード 11550
-----	------	----------------

学科名・学年	機械工学科4学年 (プログラム1学年)	担当教員	本間 晃 (機械) 廣川 純夫(機械)		
単位数	1単位・選択	開講期間	前期	時間数	30時間
			内訳 <small>(時間)</small>	講義(0), 演習(0) 実験(0), その他(30)	
教科書	なし				
補助教材	本校学生課作成の「企業実習の手引き」, 実習先企業が提供する資料				
参考書					

A 科目の概要	
企業において生産と技術の具体的な体験を積むことによって、実践的な技術感覚を体得すること、および技術者として必要な人間性の形成を図ることを目的とする。	
B 到達目標	
職業意識を身につける。 企業活動の実際を理解する。 技術者としての人間性を養成する。	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	(F)
D 履修上の注意	
実際の企業で就業体験を積むことは、諸君らの将来を考えるためにより刺激となるので、積極的に取り組んでほしい。学校とはまったく違う組織であることを常に認識し、責任ある行動を心がけてほしい。	
E 評価方法	
職業意識の修得程度をレポート内容から評価する。(30%) 企業活動の実際を理解程度をレポート内容から評価する。(30%) 技術者としての人間性を養成程度をレポート内容から評価する。(40%) レポート【100%】(企業の実習責任者から提出される実習証明書(60), 実習生が実習終了後提出する実習報告書(40)) の割合で到達目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格点とする。	

F 授業計画・内容

週	内 容	備 考
	<p>夏期休暇中に企業で実習を行う。希望学生は実習指導教員である学科主任とクラス担任とに相談し、実習先を決定する。</p> <p>(1) 実習期間：夏期休暇中 1 ~ 2 週間</p> <p>(2) 実施経費：学生負担</p> <p>(3) 傷害保険：加入 (学生負担)</p> <p>(4) 事前指導：実習生は実習指導教員よりあらかじめ事前指導を受ける。</p> <p>(5) 実習先での注意：実習生は企業の実習責任者の指示に必ず従うこと。</p> <p>(6) 実習報告書：実習生は実習終了後速やかに所定様式の報告書を作成し、実施責任者に提出する。</p>	